

研究彙報 (昭和62年1月—12月)

●特別展覧会

絵巻

会期 三月二十一日(土)―四月三十日(木)

会場 京都国立博物館本館

主催 京都国立博物館

平安・鎌倉・室町時代の名品を選び、源氏物語絵巻・信貴山縁起・伴大納言絵詞・鳥獣戯画の四大絵巻の画風が、中世にどのようにな継承され、展開されたかを概観した。

日本の甲冑

会期 十月六日(火)―十一月八日(日)

会場 京都国立博物館本館

主催 京都国立博物館

わが国の古墳時代から江戸時代に至る甲冑を集め、さらに韓国出土の例をも含めて、その発展過程をたどった。

●特別陳列 (▽印は毎年の定例的な陳列)

▽鉄斎 昭和六十一年十二月十六日(火)―一月十八日(日)

新館九号室 担当・金沢 弘

鉄斎二十九歳から八十九歳で没するまでの、全生涯にわたる作品から優品を選び陳列。

▽高台寺蒔絵と南蛮漆器 一月四日(日)―二月一日(日)

新館十五・十七号室 担当・灰野昭郎

桃山時代の工芸を代表する高台寺蒔絵と、当時ヨーロッパへ輸出した南蛮漆器を展示。

▽人形 二月十九日(木)―三月二十九日(日)

新館十四・十七号室 担当・切畑 健

雛形をはじめ、江戸時代を中心とする各種の代表的な人形を陳列。

開館九十周年記念寄贈の名品展 七月七日(火)―八月九日(日)

本館全室

当館が明治三十年に開館して以来、本年が九十周年に当たるのを記念し、その間に受け入れた寄贈品の名品を陳列した。

▽新収品展 七月七日(火)―八月九日(日)

新館十二・十三号室

昭和六十一年度に管理換・購入・寄贈をうけ、館蔵品となった作品を陳列。

●出版刊行

『絵巻』 特別展覧会目録 昭和六十二年三月

昭和六十二年三月二十一日から四月三十日までを会期とした特別展覧会「日本の甲冑」の概説および各個解説付録目録。B5版、総頁数二〇六頁、収録図版原色三一図、単色八二図。頒価千円。

『日本の甲冑』 特別展覧会目録 昭和六十二年十月

昭和六十二年十月六日から十一月八日までを会期とした特別展覧会「日本の甲冑」の概説および各個解説付録目録。B5版、総頁数一九八頁、収録図版原色二七図、単色一七四図。頒価千円。

『日本の染織―技と美―』 昭和六十二年三月

昭和六十年十月八日から十一月十日までを会期とした特別展覧会「日本の染織―技と美―」に出陳された作品を中心とする図録。論文三編、図版解説、英文概説・目録を収める。A4版、図版原色二五六図。頒価三万円。

『京都国立博物館蔵品図版目録 陶磁・金工編』 昭和六十二年三月

昭和六十二年三月三十一日現在で当館が保管している陶磁・金工部門の作品九三六件を収録。B5版、図版単色九三六図。頒価四千円。

『開館九十周年記念寄贈の名品展』 特別陳列目録 昭和六十二年七月

昭和六十二年七月七日から八月九日までを会期とした特別陳列「開館九十周年記念寄贈の名品展」の解説付録目録。B5版、総頁数一二頁、図版二四図。頒価三百円。

『京都社寺調査報告』 VII 昭和六十二年三月

当館が昭和六十一年度に実施した京都社寺調査の報告書。地域寺院(西光

寺、正久寺、浄楽寺、栄運院、源光院、西楽寺、大光寺)、および特定遺跡(方広寺石罍)。A4版、総頁数七一頁、図版単色四三図。非売品。

『京都国立博物館学叢』第九号 昭和六十二年二月

当館職員による研究紀要。論文四篇、作品研究四篇、研究随想、修復文化財関係銘文集、研究彙報、館員執筆物一覽、英文概要などを収録。A4版、総頁数二三五頁、図版原色五図、単色六二図。頒価三千元。

『研究発表と座談会 仏教美術における「莊嚴」』 仏教美術研究上野記念財団助成研究会 報告書第十五冊 昭和六十二年三月

昭和六十年十月二十八日に行われたシンポジウムの報告。A4版、総頁数二六頁、図版単色三七図。頒価九百元。

●シンポジウム

研究発表と座談会「絵巻の諸問題」

主催 仏教美術研究上野記念財団助成研究会(代表 上山春平)

期日 四月二十日(月)

会場 京都国立博物館

参加者 百名

研究発表 信貴山縁起(朝護孫子寺)〈佐野みどり〉、伴大納言絵詞(出光美術館)〈吉田友之〉、北野天神縁起(北野天満宮)〈宮次男〉、華嚴宗祖

師絵伝(高山寺)〈若杉準治〉、一遍上人絵伝(歡喜光寺)〈塩出貴美子〉

座談会 司会 武田恒夫

●国内における調査研究

日本美術史における十八世紀の諸様相とその役割に関する総合的研究 担当

上山春平ほか

平安京条坊設定に関する復元的研究 担当 森郁夫ほか

奈良・平安時代の武装形象の形式に関する基礎的研究 担当 伊東史朗

中国古写経に見る書風の変遷 担当 赤尾栄慶

仁和寺の文化財調査

●海外における調査研究および出張

狩野博幸 一月十二日―三月二十七日(行先 アメリカ合衆国) 「雪舟と

室町水墨画展」の出品作品に随伴。

金沢 弘 一月二十日―一月二十七日(行先 アメリカ合衆国) ホノルル

美術館収蔵の水墨画の調査。

伊東史朗 一月三十一日―二月十四日(行先 パキスタン、インド) 仏像

の調査。

泉 武夫 二月二十二日―三月三日(行先 中華人民共和国) 中国仏教美

術および史跡の調査。

稲田和彦 三月三日―三月十八日(行先 アメリカ合衆国、イギリス、フラ

ンス、スペイン) 特別展覧会「日本の甲冑」の事前調査。

河原正彦 六月二十二日―七月二日(行先 オランダ、西ドイツ) ライデ

ン国立民族学博物館等の東洋陶磁の調査。

灰野昭郎 六月二十二日―七月二日(行先 オランダ、西ドイツ) ライデ

ン国立民族学博物館等の漆工芸の調査。

狩野博幸 六月二十二日―七月二日(行先 オランダ、西ドイツ) ライデ

ン国立民族学博物館等の近世絵画の調査。

西上 実 九月一日―十一月三十日(行先 中華人民共和国) 昭和六十二

年度文部省在外研究員として「中国における紀遊図・名勝図の研究」のテ

ーマのもとに、南京芸術学院などで調査研究。

難波田徹 九月一日―九月七日(行先 大韓民国) 特別展覧会「日本の甲

冑」借用作品の随伴および韓国博物館所蔵品の調査。

伊東史朗 十月四日―十一月一日(行先 アメリカ合衆国、カナダ) アメ

リカ合衆国とカナダにある中国彫刻の調査研究。

灰野昭郎 十月十日―二十二日(行先 オランダ、イギリス) 昭和六十四

年度特別展「十八世紀の日本美術」の出陳品についての事前調査。

狩野博幸 十月十五日―二十六日(行先 オランダ) ライデン国立民族学

博物館等の近世絵画の調査。

森 郁夫 十一月二十三日―二十九日(行先 大韓民国) 昭和六十三年

度特別展「考古―畿内と東国」の出品文化財の事前調査。